

全国書店員が選んだ

いちばん!

売りたい本



2019年本屋大賞

全国書店員の投票で選ばれたベスト10

2017年12月～2018年11月に刊行された日本人作家の小説の中で、書店員自身が自分で読んで、いちばんお勧めしたいと思った作品です。

大賞

『そしてバトンは渡された』  
瀬尾まいこ(文藝春秋)

2位 『ひと』

小野寺史宜(祥伝社)

3位 『ベルリンは晴れているか』

深緑野分(筑摩書房)

4位 『熱帯』

森見登美彦(文藝春秋)

5位 『ある男』

平野啓一郎(文藝春秋)

6位 『さざなみのよる』

木皿泉(河出書房新社)

7位 『愛なき世界』

三浦しをん(中央公論新社)

8位 『ひとつつむぎの手』

知念実希人(新潮社)

9位 『火のないところに煙は』

芦沢央(新潮社)

10位 『フリーガはユーガ』

伊坂幸太郎(実業之日本社)

Supported by

NOLTY® PAGEM  
ノルティ ペイジェム

手帳ブランドNOLTY / PAGEMは本屋大賞に協賛し、応援しています。